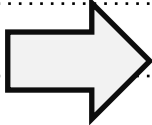


平成30年度パイロット事業・支部調査研究事業について

1. 応募数及び採用数について

- 30年度のパイロット事業・支部調査研究事業については、応募数が134事業（46支部）と過去最大となり、採用数は26事業（17支部）となった。

	平成29年度		平成30年度
応募数	102事業（39支部）		134事業（46支部）
採用数	20事業（15支部）		26事業（17支部）

2. 平成30年度に実施するパイロット事業・支部調査研究事業の概要

パイロット事業

- 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

埼玉 ・ 兵庫	件名	動画共有サービスを活用した健康保険給付等の手続き案内サービス（埼玉） 健康保険手続き方法の簡単動画説明（兵庫）
	概要	現金給付の概要や申請書の記入方法等の説明動画を制作してインターネット上にアップロードし、協会けんぽホームページからリンクを設定する。併せて、広報紙や申請書送付時の案内文書、メルマガ等において動画利用を勧奨する。
岡山	件名	LINEアプリを活用した健康に関する意見発信
	概要	LINEアプリを活用し、加入者・事業主に対して医療保険制度の概要や健康づくりの情報について発信する。

パイロット事業

● ジェネリック医薬品の使用促進

静岡	件名	薬局と連携したジェネリックお見積もり
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局窓口において、処方箋受付時にジェネリックに切り替えた場合の費用負担の簡易な見積りを提示し、ジェネリックへの切り替えを促進する。 ・支部においては、そうした見積りを作成できる薬局リストをジェネリック医薬品軽減額通知に同封するとともに、加入者向けのジェネリックお見積り依頼カードや、薬局向けの広報ツールを作製して環境整備を図る。
愛知	件名	調剤薬局の問診票を活用したジェネリック使用率向上
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師から加入者に対するジェネリック医薬品への切替勧奨を促進するため、薬剤師会と共同でオリジナルの初回問診票（※）を作製する。 （※）ジェネリックを希望しない理由、お薬手帳を持っている数、かかりつけ薬剤師の希望など、薬剤師会監修のもとで薬局側にも資する内容を盛り込む。 ・協力薬局の窓口において、初回問診票のジェネリック医薬品希望欄に「希望しない」と回答した加入者については、薬剤師からの説明によりジェネリック医薬品の選択を促し、継続的なジェネリック医薬品の使用を目指す。

● 医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ

静岡	件名	生活習慣病治療薬のフォーミュラ作成及び地域医療の標準化の提言
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・協会の調剤データを用いて、生活習慣病治療薬に係る地域単位及び訪問対象医療機関における先発品・後発品の処方・調剤量をリスト化する。 ・その上で、病院訪問において当該リストを提示し、生活習慣病治療薬に係る第一選択肢を後発医薬品とするよう提言すると共に、病院と協議を重ねてエビデンスを付与したフォーミュラ（※）を病院に作成してもらう。 （※）医療機関における最も有効で経済的な医薬品の推奨リスト。 ・長期的には、複数病院のフォーミュラを一定程度収集することにより、薬物治療の標準化に向けた議論を喚起し、最終的には地域単位でのフォーミュラの作成を目指す。

パイロット事業

● 特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上

宮城	件名	被扶養者に係る事業者健診結果データ等取得事業
	概要	3年以上協会の特定健診を受診していない被扶養者に健診結果提供依頼文書を送付し、パート勤務者で事業主の定期健診を受診している場合や人間ドックを受診している場合には、その結果を返送してもらう。その際、協会けんぽの特定健診を受診しない理由を把握するための調査票を同封する。
滋賀	件名	AIを活用した集団健診会場・日程の最適化モデル構築事業
	概要	・支部の過去5年間の健診データと事業者が独自で実施したアンケート解析結果から、AIを用いて集団健診を受診する確率が潜在的に高い健診場所・日程について算出する（GISとも連動）。 ・その上で、被扶養者の特定健診未受診者を対象に受診勧奨を実施し、AIを活用して選定した健診場所や日程とそれ以外とでの健診受診率の差異を検証する。
和歌山	件名	小規模事業所に対する健診実施状況の実態調査及び受診勧奨アプローチ
	概要	被保険者数10人以下の事業所については、労働安全衛生法上、事業主健診の実施義務は課されているものの、国の統計においては事業主健診の実施率は調査されていないことから、実態が判然としていない。このため、アンケート調査による小規模事業所における事業者健診の実施状況等の実態把握を行うとともに、事業主から加入者への健診の受診勧奨の促進や被保険者に対する受診勧奨を併せて行う。

支部調査研究事業

山形	件名	ジェネリック軽減額通知未切替者に関する分析
	概要	ジェネリック医薬品軽減額通知で切替をしていない方を今後のアプローチ対象者として、切替に至らない要因を受診医療機関・薬局でセグメントに分け、分析する。
山形	件名	在宅医療に関する医療費削減効果の分析
	概要	医療提供体制や医療費適正化に係る意見発信の材料として、入院と在宅に係る医療費の違いを入院レセプトとそれに対応する外来・訪問看護レセプトから、傷病ケースごとに分析する。
新潟	件名	地域別、業態別、年代別にみたメタボリックシンドローム新規発症に関連のある生活習慣の調査研究
	概要	2012年度のメタボ非発症者について、2016年度まで経年的に追跡し、新規メタボ該当者の健診結果と生活習慣を詳細分析することで、高リスク層を特定する。
長野	件名	生活習慣病予防健診の胃がん発見効果の調査分析
	概要	レセプトデータと健診受診者リストを使用し、胃がん発病者の健診受診状況と治療経過を調査する。
静岡	件名	あはきの加入者属性に着目した総合分析
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・あはきの受療委任払いの導入が検討されていることを踏まえ、効率的な審査強化に資する総合的な分析を行う。 ・①往療料算定の多い施術者の状況、 ②長期、頻回受療の傾向（傷病・年齢・業態・地域）、 ③GISによる加入者、施術者、同意医師の地理関係、 ④今年度より始まった施術継続理由状態記入書の傾向

支部調査研究事業

愛知	件名	既製品治療用装具の適正価格について
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・既製品治療用装具の価格については定めがないため、各装具製作会社が「購入基準」を参考に任意に価格を決定している。 ・既製品治療用装具の価格及び使用実態を明らかにし、現在設定されている価格や療養費（現金給付）の対象として適正か検証する。
京都	件名	京都支部加入者の健診結果に基づくCKD重症度分類と生活習慣の関連に関する調査研究
	概要	生活習慣病予防健診結果を活用し、CKD重症度分類ごとに、健診の問診項目を比較し、CKD重症度別の生活習慣を分析し、CKDの悪化に影響を及ぼす生活習慣が何かを明らかにする。
兵庫	件名	禁煙外来による禁煙効果の検証
	概要	保険者として禁煙外来の有効性を検証する必要があると考え、本研究では、禁煙外来受診者と非受診者の禁煙成功率を比較しての検証を行う。また、禁煙外来受診者の禁煙成功率については、先行研究との比較も行う。
広島	件名	糖尿病重症化予防事業の参加者・未参加者のeGFRで見る腎症ステージ移行者数等の分析
	概要	広島支部は全国に先駆け、平成23年より糖尿病性腎症者の重症化予防事業に取り組んでおり、蓄積したデータを活用し、重症化予防事業参加者と不参加者との経年的な比較研究を行う。